

TOPIC
4
10
29

練習の成果を披露

白糠養護学校最後の学習発表会

白糠養護学校（仲條正輝校長）は、来年3月の閉校を前に、最後となる学習発表会を同校体育館で開きました。

学習発表会では、中学部の3人が自分たちが企画したお祭りを準備、開催する内容の劇を披露。高等部の3人は、ユーチューバーになって英語の学習内容や歌を配信形式で披露しました。生徒たちは自分たちの役をしっかりと演じ、最後には来場者から大きな拍手を受けて、充実した表情を見せしていました。



最後の学習発表会で披露した中学部の劇



参加者は36ホールストロークプレーで優勝を競いました

TOPIC
1
10
23男子は佐藤政巳さん
女子は木屋和子さんが優勝

第21回町長杯争奪パークゴルフ大会

第21回町長杯争奪パークゴルフ大会が、しらぬかパークゴルフインチャロで2年ぶりに開催され、町内をはじめ、釧路市や本別町から70人が参加しました。

男子の部は、佐藤政巳さんがスコア96、女子の部は木屋和子さんがスコア106で熱戦を制し、優勝を飾りました。佐藤さんは「運もついていたおかげです。2年前のリベンジができました」、木屋さんは「ホールインワンも取れたり、優勝できてうれしいです」と話していました。



音楽と劇で防犯を呼び掛ける音楽隊員

TOPIC
5
10
31音楽を通して
防犯意識を高める

交通安全講話・道警音楽隊演奏会

釧路警察署による交通安全講話と北海道警察音楽隊、カラーガード隊による演奏会が白糠学園で開かれ、児童生徒が防犯意識を高めました。

講話に続き、北海道警察音楽隊がジャズやアニメの曲などを演奏。カラーガード隊は音楽に合わせて華やかなパフォーマンスを披露しました。防犯教室も兼ねているため、防犯の合言葉「いかのおすし」を音楽に合わせた劇で披露し、「知らない人から声を掛けられてもついて行かないように」と呼び掛けました。

TOPIC
2
10
26地域福祉の推進と
充実に努める

社会福祉協議会創立70周年記念式典

白糠町社会福祉協議会（岸本秀彦会長）の創立70周年記念式典が保健センターで開かれ、関係者約40人が出席し、節目を祝いました。

同会は1951年（昭和26）9月18日に発足し、今日まで町の地域福祉活動の推進に努めてきました。式典では岸本会長が「全ての人たちが安心して暮らすことができるよう、これまで以上に地域福祉の推進と充実に努めていく」と式辞。その後、長年活動を続けてこられた役員や福祉基金協力者等に表彰状が贈られました。



長年にわたり役員として尽力された方々に表彰状を贈呈

TOPIC
6
11
3クラシックとポピュラーの
響きで来場者を魅了

バイオリン&ピアノ名曲コンサート

バイオリン&ピアノ名曲コンサートが福祉センターで開催され、株式会社オカモトに所属するバイオリニストの和光憂人さんとピアニストの長尾崇人さんが息の合った美しい音色で、来場者100人を魅了しました。

コンサートでは、エドワード・エルガー作曲の朝の歌に始まり、第2部ではアザラシヴィリ作曲のノクターンなど、アンコールを含む14曲を披露。

来場した福地美佐子さんは「生の迫力ある演奏が間近で見られて感動しました」と話していました。



バイオリニストの和光さんとピアニストの長尾さん



川島教育長と表彰状と記念品を手に笑顔の塚田君

TOPIC
3
10
28

茶路小、塚田君が一番乗り

読書おもいで帳達成者表彰

公民館図書室から借りた本を336冊分記帳できる「読書おもいで帳」の初めての達成者として、茶路小学校5年生の塚田征君が表彰されました。

この日は、同校の体育館で表彰式が行われ、全児童生徒が見守る中、川島真澄教育長から塚田君に賞状と記念品が手渡されました。

ミステリーや推理系の本が好きだという塚田君は、多いときは、一日3時間読書をしたと振り返り「これからも読書を続けていきたいです」と話していました。